

# 看護薬理学

ナンバリング:N4-S1-B14

責任者・コーディネーター	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授		
担当講座・学科(分野)	看護専門基礎講座		
対象学年	4	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

## ・学修方針(講義概要等)

薬物療法において看護師は医師から処方に関する指示を受け、患者や薬の情報を確認し、薬剤を正確かつ安全に与薬することが求められる。薬効を発揮させ、有害反応を予防したり早期に発見するためには、与薬の前後で患者を観察し、アセスメントをして、適切なケアを実施することが重要である。また、患者が行う薬剤の自己管理や服用に関する指導も看護師の役割となる。これらの役割を果たすためには薬理学だけでなく、基礎看護学、解剖生理学、病態生理学などの知識や考え方を統合して学ぶ必要がある。本科目では、臨床現場で行われている薬物治療とその看護援助を反映させた看護のための薬理学を学修する。

## ・教育成果(アウトカム)

薬物療法における看護師の役割を理解し、安全で効果的な薬物投与に必要な基礎知識と実践的能力を修得することができる。具体的には、薬物の作用機序や体内動態の基本的知識を修得し、それらを活用して患者の状態を適切に観察・アセスメントする能力を身につける。また、各種治療薬の特性を理解し、投与方法に応じた確実な与薬技術、副作用の早期発見と対応、さらに服薬指導や患者教育に必要な知識と技術を修得する。これにより、チーム医療の一員として薬物療法に関わる看護実践能力を養うことができる。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。

## ・到達目標(SBO)

1. 薬物の作用点(受容体、イオンチャネル、酵素、トランスポーター)を説明できる。
2. 薬理作用を規定する要因(用量と反応、親和性等)や薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)を説明できる。
3. 薬物の蓄積、耐性、依存、習慣性や嗜癖を説明できる。
4. 薬物相互作用とポリファーマシーについて概説できる。
5. 薬物の投与方法(経口、舌下、皮膚、粘膜、直腸、注射、吸入、点眼、点鼻等)の違いによる特徴と看護援助を説明できる。
6. 薬物の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を概説できる。
7. 薬物管理の基本的知識と注意事項を説明できる。
8. 主な治療薬(中枢神経系に作用する薬、循環器系に作用する薬、血液に作用する薬、呼吸器系に作用する薬、消化器系に作用する薬、内分泌・代謝系に作用する薬、腎・尿路系に作用する薬、抗感染薬、抗炎症薬、)の作用、機序、適応、有害事象及び看護援助を説明できる。

## ・授業日程

### 【講義】

会場: トクタヴェール講義室2

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/6 月 3限	<p>【授業内容】薬物治療の基礎</p> <p>1) 医薬品の取り扱い</p> <p>2) 薬物治療の実際</p> <p>・与薬における看護師の役割をまとめることができる(適切な与薬、薬剤管理、患者や家族への説明と指導)。</p> <p>教科書(臨床薬理学):p8-30</p> <p>【関連するSBO】1~7</p> <p>【事前学修:60分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。</p> <p>【事後学修:90分】配布した問題演習資料を用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。</p>	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授

<p>4/13 月 2限</p>	<p>【授業内容】薬物治療における看護の役割 1) 副腎皮質ステロイド薬 2) 降圧薬 ・与薬における看護師の役割をまとめることができる(適切な与薬、薬剤管理、患者や家族への説明と指導)。 教科書(臨床薬理学):p49-53、84-89、223-229 【関連するSBO】3、8 【事前学修:60分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】配布した問題演習資料を用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。</p>	<p>看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授</p>
<p>4/20 月 1限</p>	<p>【授業内容】薬物治療における看護の役割 1) 抗血小板薬・抗凝固薬 2) 解熱鎮痛薬(NSAIDsなど) ・与薬における看護師の役割をまとめることができる(適切な与薬、薬剤管理、患者や家族への説明と指導)。 教科書(臨床薬理学):p40-48、106-111 【関連するSBO】4、8 【事前学修:60分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】配布した問題演習資料を用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。</p>	<p>看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授</p>
<p>4/24 金 2限</p>	<p>【授業内容】薬物治療における看護の役割 1) 睡眠薬 2) 抗精神病薬 ・与薬における看護師の役割をまとめることができる(適切な与薬、薬剤管理、患者や家族への説明と指導)。 教科書(臨床薬理学):p77-82、179-192 【関連するSBO】3、7、8 【事前学修:60分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】配布した問題演習資料を用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。</p>	<p>看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授</p>
<p>4/27 月 3限</p>	<p>【授業内容】薬物治療における看護の役割 1) 血糖降下薬 2) インスリン製剤 ・与薬における看護師の役割をまとめることができる(適切な与薬、薬剤管理、患者や家族への説明と指導)。 教科書(臨床薬理学):p149-163 【関連するSBO】2、8 【事前学修:60分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】配布した問題演習資料を用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。</p>	<p>看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授</p>
<p>5/7 木 3限</p>	<p>【授業内容】薬物治療における看護の役割 1) 気管支喘息治療薬 2) 骨粗鬆症治療薬 ・与薬における看護師の役割をまとめることができる(適切な与薬、薬剤管理、患者や家族への説明と指導)。 教科書(臨床薬理学):p112-119、169-172 【関連するSBO】2、8 【事前学修:60分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】配布した問題演習資料を用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。</p>	<p>看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授</p>
<p>6/15 月 3限</p>	<p>【授業内容】薬物治療における看護の役割 1) 抗不整脈薬 2) 利尿薬 ・与薬における看護師の役割をまとめることができる(適切な与薬、薬剤管理、患者や家族への説明と指導)。 教科書(臨床薬理学):p101-106、229-233 【関連するSBO】1、8 【事前学修:60分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】配布した問題演習資料を用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。</p>	<p>看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授</p>

6/22 月 3限	<p>【授業内容】薬物治療における看護の役割</p> <p>1) 抗菌薬 2) 下剤</p> <p>・与薬における看護師の役割をまとめることができる(適切な与薬、薬剤管理、患者や家族への説明と指導)。</p> <p>教科書(臨床薬理学):p57-62、264-269</p> <p>【関連するSBO】2、3、8</p> <p>【事前学修:60分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。</p> <p>【事後学修:630分】 (90分:配布した問題演習資料を用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。) (540分:定期試験対策学修をする。)</p>	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
-----------------	--	-----------------------

・教科書・参考書等

教科書・参考書等		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 別巻 臨床薬理学 第2版	井上智子, 窪田 哲朗 編	医学書院	2024
参	系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進③ 第16版	吉川雄朗 他	医学書院	2026
参	知らないといけない!病棟でよく使われるくすり 第2版	荒木博陽, 田中守, 愛媛大学医学部附属病院薬剤部 編	照林社	2026
参	今日の治療薬2026 解説と便覧	伊豆津宏二 編 他	南江堂	2026
参	病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図(e-Nurse Trainer: 大学図書館データベース)	井上智子 編 他	医学書院	-
参	系統別看護師国家試験問題WEB(大学図書館データベース)	-	医学書院	-

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験(多肢選択式問題)にて評価する(100%)。

【形成的評価】毎回の授業で配布する自習用ドリルに掲載されている問題を授業中に解かせ、授業内容の理解度を確認する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1, 2, 3, 6	1~8		100					100
合計		0	100	0	0	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

課題レポートから多くの学生が理解していない項目や習得できていない項目を把握し、次回以降の授業で取り上げ、知識の定着と理解の促進を図る。

【その他】

- 各回の授業の中で教員とのディスカッションの機会を設ける。
- 事後の自主学修において「e-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス: 本学図書館を經由して接続)」を用いた発展学習を推奨する。この使用方法や内容等については授業で説明する。
- 各授業の中で、学生同士で教え合う時間を設け、全体及び個々の理解を深める。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3): 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 無

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	ノートパソコン Vostro16 Corei7 1360P	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影